

第4章 取組方針

4.1 取組方針

第4章 取組方針

取組方針:一覧

取組方針とは、まちの将来像・まちづくりの方向性の実現に向けて取り組むべき方針について、狛江市都市計画マスタープラン・立地適正化計画のまちづくりの分野別方針を踏まえ、9つの分野に分けて示したものです。この取組方針により、行政・市民・民間事業者等の多様な主体が連携してまちづくりを進めていくことを想定しています。

※具体的な施策案については、関係者と調整を行ったものではなく、あくまで案として記載しているものです。狛江駅周辺(主に南口周辺)のまちづくりを推進するために、今後関係者と実現可能性について検討・調整を行っていくものです。

まちの将来像	まちづくりの方向性			取組方針
	からだで感じるまち	あそびがあるまち	つながるまち	
セカンドリビングのあるまち	◎	○	○	1【パブリックスペース】 平坦な地形を活かした、歩いて心地よい居場所で溢れる
			◎	2【道路・交通】 生活圏をつなぐ、安全で円滑な交通環境がある
	○	○	◎	3【水と緑・土地の記憶】 日常の風景に、豊かな自然や土地の記憶を感じる
		○	◎	4【住環境】 だれもが愛着を持って住み続けられる、駅前の良好な住環境がある
	◎	○	○	5【拠点形成】 暮らしを豊かにする多様な機能が集う居場所がある
	○	◎		6【地域の個性】 このまちの良さが駅前からしみだす
	○	○	◎	7【景観】 自然を感じ、賑わいが連続する南北一体のまちなみを描く
			◎	8【安心・安全】 いざという時の市民の支えとなる場がある
	○	◎		9【市民参加・エリアマネジメント】 手と手が届く距離感で、みんなでまちを育てる

第4章 取組方針

取組方針1:パブリックスペース

平坦な地形を活かした、歩いて心地よい居場所で溢れる

狛江のフラットな地形を活かし、誰もが無理なく歩ける空間を拡充します。駅前広場や街路を単なる移動空間から、ベンチや木陰のある「過ごす場所」へ転換し、日常的な滞留を促します。

具体の施策案

#官民連携による公共空間の整備・活用 #ほこみち制度 #駅前の顔づくり #居心地の良い空間づくり #バリアフリー
#道路空間の見直し #多機能性のある公共空間の創出 #暑熱対策 #高架下の有効活用 #西側自由通路の整備
#ふれあい側道の歩行者専用道路化



北口のほこみち、広場

© (一社) まちみらいラボ



将来の南口通りのイメージ

第4章 取組方針

取組方針2:道路・交通

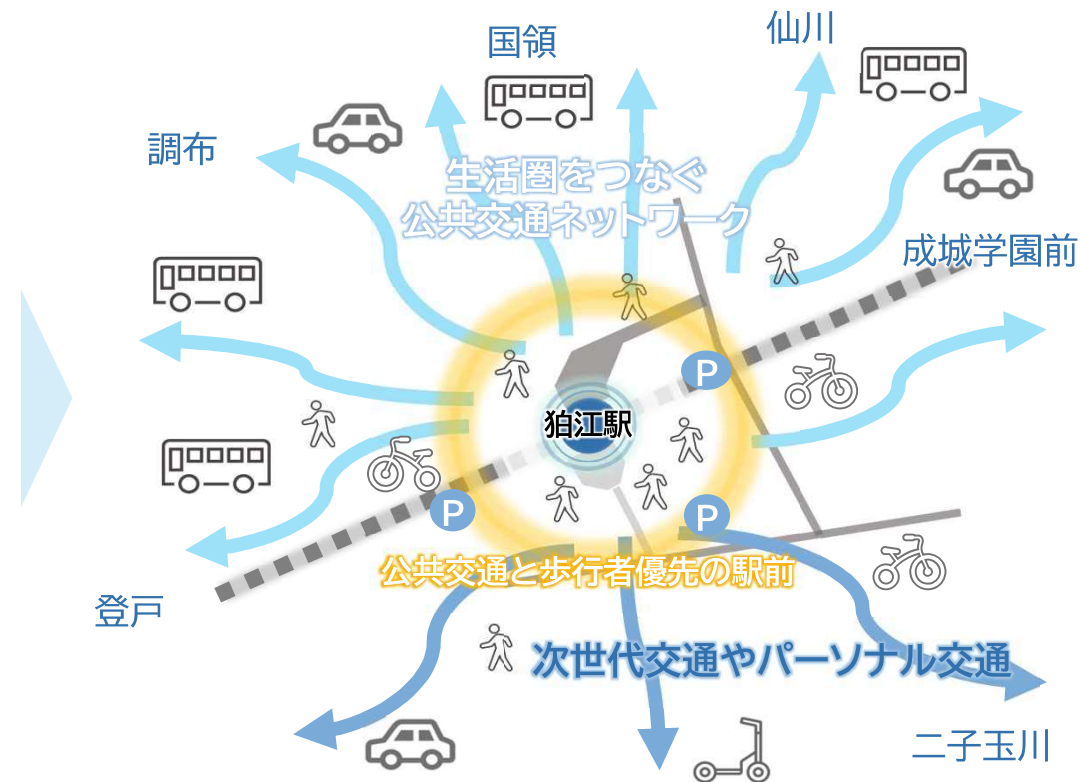
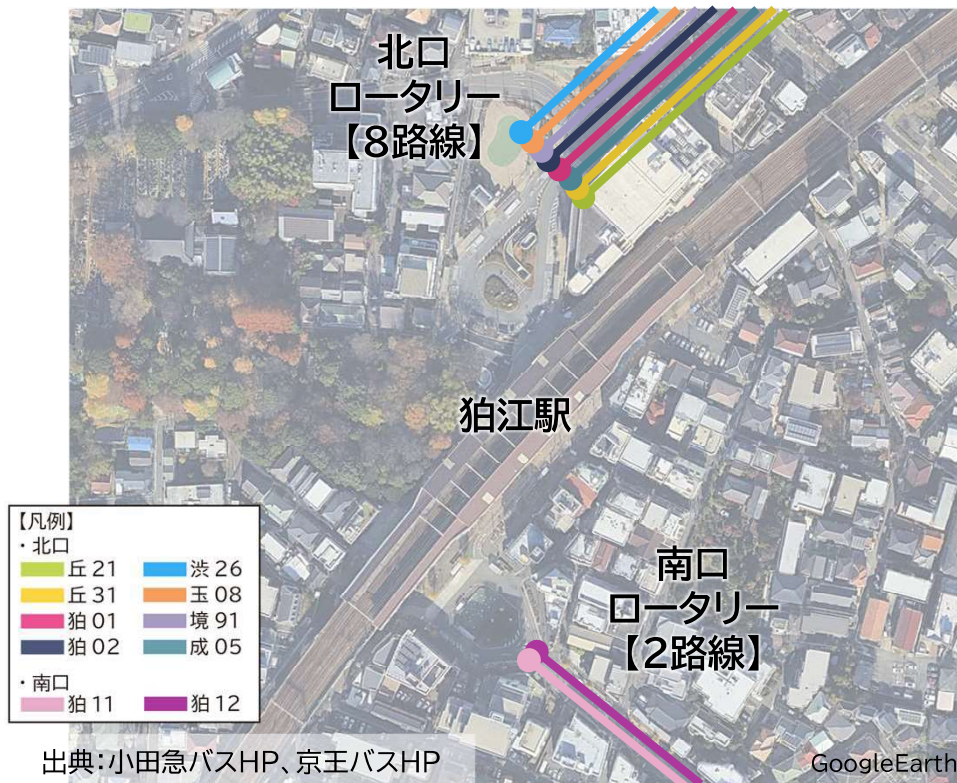
生活圏をつなぐ、安全で円滑な交通環境がある

時代に合わせ、北口と南口の交通機能を最適化します。歩行者優先の駅前や自動車・次世代モビリティ・自転車・歩行者が安全に共存できる環境を整え、コンパクトな狛江市内と周辺圏域をスムーズにつなぎます。



具体の施策案

- #安全・快適な道路整備
- #次世代モビリティ
- #駐車場・駐輪場の適正配置
- #駅前広場見直し
- #地域公共交通ネットワークの最適化
- #駅前の公共交通の集約
- #パーソナル交通の利便性向上



第4章 取組方針

取組方針3:水と緑・土地の記憶

日常の風景に、豊かな自然や土地の記憶を感じる

多摩川や狛江弁財天池特別緑地保全地区等の自然や、農地や歴史的な土地の記憶といった、「点」としての資源を「面・線」でつなぎ、狛江らしい潤いと落ち着きのある景観を形成します。



具体の施策案

特別緑地保全地区等の保全・活用 # みどりのネットワーク形成 # 屋上緑化の推進
古道や古墳、暗渠の利活用 # 山並みへの眺望点の確保 # 潤いを感じる親水空間の整備



第4章 取組方針

取組方針4:住環境

だれもが愛着を持って住み続けられる、駅前の良好な住環境がある

子育て世代から高齢者まで、多様なライフスタイルに応え、誰もが安心して住み続けられる生活環境を整えます。都心近接の利便性を活かし、駅前に相応しい良質な住宅を誘導することで、豊かな環境を実現します。

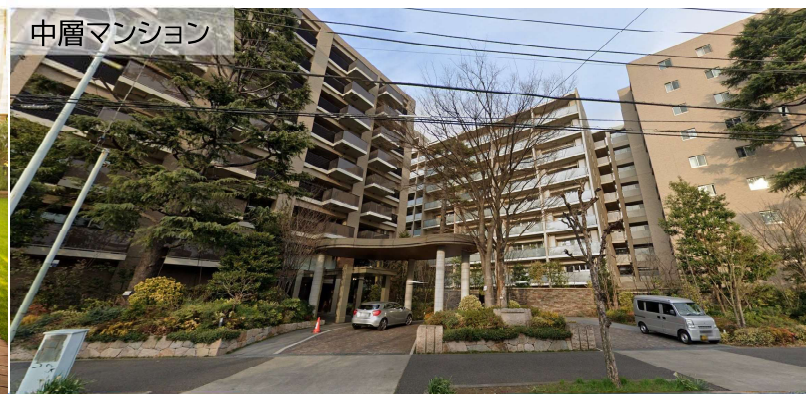


具体の施策案

充実した子育て環境づくりの推進 # 住み替え # 快適で持続可能な生活環境の形成 # 高齢者向け住宅環境づくり # 地域コミュニティの形成
アフォーダブル住宅の誘導 # 多様な住宅 # 住宅低層部の用途の誘導 # 駅前置環境を担う管理組合



オープンスペースやコレクティブハウスでの
コミュニティ形成



中層マンション



高層マンション



共用部の子育て支援スペース

PhotoAC



低層マンション



高層マンション

GoogleMap ストリートビュー

第4章 取組方針

取組方針5:拠点形成

暮らしを豊かにする多様な機能が集う居場所がある

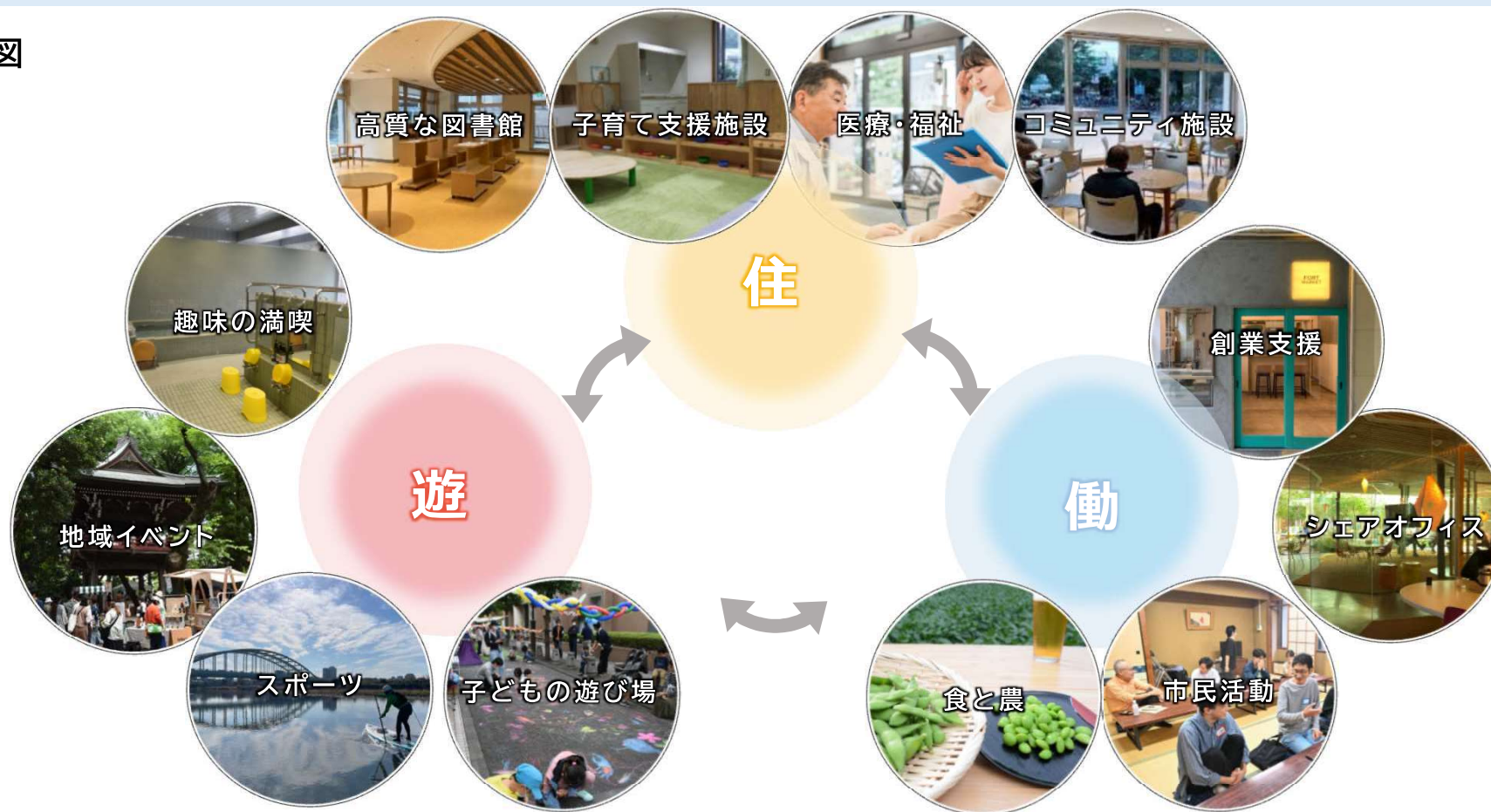
駅前の高度利用等により、まちに適した多様な都市機能を誘導することで暮らしの質を向上させます。住む・働く・遊ぶが市民の日々の暮らしの中で継ぎ目なく融合する、活気ある拠点を形成します。

具体の施策案

#商業・医療・福祉等の都市機能の集約 #幅広い働き方を支える場づくり
#土地の有効活用 #高架下の有効活用



イメージ図



第4章 取組方針

取組方針6:地域の個性

このまちの良さが駅前からしみだす

新しいチャレンジがしやすく、文化資源や都市農業、個人商店といった、地域独自の営みが駅前の風景に溢れ出すことで、画一的ではない固有の場所をつくります。

具体の施策案

#多様な文化・芸術に親しめる場や機会の創出 #地域産農産物の購買促進と普及啓発 #個人店による魅力創出 #起業・創業支援
#地域ブランディングの促進 #リノベーション #高架下の有効活用



【狛江の現在】



第4章 取組方針

取組方針7:景観

自然を感じ、賑わいが連続する南北一体のまちなみを描く

人が行き交う道路や沿道施設において、駅の南北で統一感を持たせるとともに、人の活動がまちに滲み出す、ヒューマンスケールを意識したデザインを誘導します。また、自然を臨む眺望点を確保します。

具体の施策案



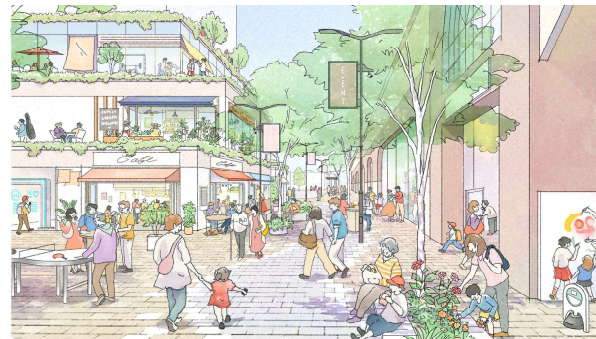
- # 狛江市の顔にふさわしい景観づくり
- # 南北で連続する公共空間・沿道景観の形成
- # 自然への視線を確保する眺望配慮
- # 人の生活と地域活動が感じられるまちなみづくり
- # 富士見テラスの整備



北口の夜景



北口の複合施設とほこみち



将来の南口の複合施設とふれあい側道のイメージ



北口側からの眺望

GoogleEarth

北口



駅前から連続して都市の輪郭が感じられる景観

GoogleEarth

南口

第4章 取組方針

取組方針8:安心・安全

いざという時の支えとなる場がある

道路やオープンスペースを整備し災害に強いまちづくりを推進します。また、子どもや高齢者の見守りに配慮した環境を整備します。



具体の施策案

#狭あい道路の拡幅 #地域防災拠点の備蓄機能強化 #避難場所の確保 #共助・地域の見守り体制の充実
#街区再編まちづくりの推進 #通信インフラの充実



現在は、狭あい道路が多く存在し、防災・防犯上の課題がある。
(未整備地域)

GoogleMap ストリートビュー



電線地中化

出典:PhotoAC



イベント等の実施

楽しみながら防災知識を、身に付けることのできる
防災イベント



道路整備

開発と併せて基盤整備が実施
され防災・防犯上の課題が改善
(整備後の地区)

第4章 取組方針

取組方針9:市民活動・エリアマネジメント

手と手が届く距離感で、みんなでまちを育てる

市民・事業者・行政が、顔の見える温かい関係の中で連携できる体制を構築します。道路や広場を自分たちの舞台として使いこなし、持続的にまちの価値を高めるエリアマネジメントを実現します。



具体の施策案

#コミュニティ活動・市民参加の促進 #エリアマネジメント #管理組合との連携 #孤立支援対策

【狛江の現在】市民や企業が連携し、持続的にまちを使いこなす仕組みや公共空間

